

人と自然が輝く水源の郷



力と呼吸を合わせて

- 定例会 (一般質問を一問一答方式試行的実施) ..... P 2
- 決算認定 (平成 27 年度) 健全な財政状況と判断 ..... P 4～5
- 一般質問 (7人が問う) ..... P 6～13
- あの一般質問は・今 (ふるさと納税の現状とその活用は) ..... P16
- 紹介／がんばる人紹介 (道志村農産物生産出荷組合／佐藤最上) ..... P17～18

みなさまの声を議会に

TEL : 0554-52-2112 FAX : 0554-52-2572 E-mail : gikai@vill.doshi.lg.jp

# 9月 定例会

## 一般質問、一問一答方式 試行的に踏み切る！

9月定例会は9月6日から16日まで開催され、28年度一般会計補正予算、28年度5件の特別会計補正予算、1件の条例改正、平成27年度決算などを審議し、原案通り可決承認しました。

今回の一般質問は一問一答方式を試行的に行いましたが、まだまだ改善の余地があると思われます。

### おもな審議事項

#### ●一般会計補正 2280万円を追加し、総額21億882万円で議決

おもな財源	・村 税 (村民税、固定資産税、軽自動車税の調定額確定) ……	1050万円
	・地方交付税 (普通交付税算定による増額) ……	3366万円
	・繰越金 (平成27年度決算による繰越金の確定) ……	6062万円
	・村 債 (緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債の増) ……	761万円

おもな使いみち	・民生費 (福祉給付金、障害・遺族年金受給者向け給付金他) ……	657万円
	・農林水産業費 (農道・水路等緊急修繕費他) ……	414万円
	・商工費 (室久保農村公園枯れ松伐採委託、東部林道仮設展望台設置他) ……	278万円
	・土木費 (谷相地区落石防護柵設置工事測量設計他) ……	254万円
	・教育費 (小中学校改築木材製材・調達業務委託他) ……	615万円

#### ●特別会計補正 3会計で1426万円を追加し、5会計総額9億3118万円で議決

おもな財源	・村 債 (中山間地域総合整備事業負担金の増額) ……	100万円
	・繰越金 (介護保険特別会計前年度繰越金) ……	1344万円

おもな使いみち	・基金積立金 (道志村介護保険基金) ……	745万円
	・諸支出金 (介護保険特別会計決算による精算金) ……	599万円
	・浄化槽事業費 (確定申告による消費税納付) ……	80万円

#### ●条例改正 議決

条例改正 1件	・情報通信施設の設備及び管理に関する条例の一部を改正 各家庭に設置の端末機は、今まで負担金(1戸当たり2万円)でしたが条例公布の日(9/16)より無償となりました。
---------	---

#### ●30人以下学級実現、義務教育費国庫負担金制度拡充を図るための請願を採択

教育環境整備のため、30人以下学級とし、義務教育費国庫負担金制度の国負担割合を二分の一に還元し、教育予算の拡充を求める請願で、国の関係機関に意見書を提出

# QA 議案等の質疑

本定例会で行った、協議会での質疑の一部を紹介します。



## Q 定住人口の増加事業計画は

●現在行っている事業内容は

**A** 現在、空き家調査等を行っており、定住者の受け入れ態勢を整え、道志情報館、移住コンシェルジュなどを通し道志村内外に、幅広くPRしていく予定です。



## Q 道志の湯、薪ボイラーの改善は

●稼働率を高める為の工夫は必要ないか

**A** 道志の湯の人員体制の充実と作業改善を図り稼働率を高めていくように指導しています。

## Q ボランティア団体「あすなる会」の解散

●その後の対策は

**A** ボランティアの種類毎に個人ボランティアを募集し、活動を継続して頂く方向で進んでいます。



# 万円など 総額 34 億円

(7 会計の合計) 8 億 9090 万円】

* 学校建設費 (一期、二期工事) 平成 27 年発注額	5 億 3842 万円
学校建設費決算額	5 億 6887 万円 (繰越額 4 億 436 万円)

## 平成 27 年度 一般会計の決算

■ 歳入 (はいつてくるおかね) ……	26 億 2210 万円
■ 歳出 (どうつかわれたか) ……	24 億 6366 万円
■ 歳入歳出差引 (のこったおかね)	1 億 5844 万円
繰越事業に充当するお金	1 071 万円
純繰越金 (28 年度の事業で使うお金)	1 億 4773 万円

(単位：千円以下切捨て)

## 平成 27 年度 特別会計の決算

(単位：千円以下切捨て)

会 計 名	歳 入 総 額	歳 出 総 額
国民健康保険	3 億 5088 万円	3 億 3119 万円
国民健康保険診療所	1 億 1344 万円	1 億 1344 万円
簡易水道事業	1 億 997 万円	1 億 977 万円
介護保険	2 億 578 万円	1 億 9085 万円
介護サービス事業	136 万円	136 万円
浄化槽事業	1 億 207 万円	1 億 197 万円
後期高齢者医療	4234 万円	4234 万円
合 計	9 億 2584 万円	8 億 9092 万円

# \* 学校建設費 5 億 3842

【一般会計 24 億 6366 万円・特別会計

## 【一般会計の目的別歳出】

● 議会費

27 年度 4 4 2 3 万円  
26 年度 4 2 7 4 万円

● 総務費

27 年度 3 億 2 5 8 7 万円  
26 年度 3 億 2 9 5 9 万円

● 民生費

27 年度 2 億 3 1 2 5 万円  
26 年度 2 億 5 7 5 9 万円

● 衛生費

27 年度 1 億 3 9 4 万円  
26 年度 1 億 4 8 7 万円

● 農林水産業・商工費

27 年度 2 億 6 2 9 0 万円  
26 年度 2 億 9 2 5 2 万円

● 土木費

27 年度 2 億 1 3 8 4 万円  
26 年度 1 億 6 1 0 0 万円

● 消防費

27 年度 1 億 7 4 8 万円  
26 年度 3 億 4 6 1 5 万円

● 教育費

27 年度 7 億 5 0 3 0 万円  
26 年度 3 億 8 6 7 5 万円

★ 学校建設費による増加

● 災害復旧費

27 年度 2 8 0 9 万円  
26 年度 3 1 1 万円

★ 災害事業の増加

● 公債費（借金の支払い）

27 年度 2 億 7 7 3 0 万円  
26 年度 2 億 7 4 3 7 万円

● 諸支出金

27 年度 1 億 1 8 4 6 万円  
26 年度 1 3 9 4 万円

★ 基金の積立金

**監査結果** 財政の健全化判断比率の指標で、実質公債費比率は 6.1%と、早期健全化基準 25%を大きく下回っているので、健全な財政状況であると判断する。また、各課の事務、事業執行状況については適正に処理されている。

## 9月定例会一般質問一覧

### ■ 佐藤 和彦 議員

1. 総合戦略における就業環境をつくる具体策は
2. 観光集客施策についての考えは
3. 水源の森伝習館の再利用は

### ■ 佐藤 一仁 議員

1. 地域密着型老人福祉施設はどうなっているか
2. 全国源流の郷協議会での取り組みは
3. 株式会社どうしへの指導は

### ■ 佐藤 進 議員

1. 工事指名業者の選定方法は
2. ふるさと納税の取り組みは

### ■ 大田 博文 議員

1. 富士山噴火時の広域避難訓練計画は
2. 国道413号線の夜間照明の老朽化対策は
3. 公園の遊具整備計画は

### ■ 山口 博康 議員

1. 道坂川砂防工事の調査進捗状況は
2. 観光客の冬場の増加対策が必要では
3. 内水面漁業の振興は

### ■ 池谷 高明 議員

1. 工事名変更は事前説明を

### ■ 佐藤 長久 議員

1. 男女共同参画計画に対する村長の認識は
2. 市町村合併問題に対する村長の認識は

# 一般質問 村政を問う ここが聞きたい

※一般質問の形態・方法が変わりました。9月定例会より一問一答方式を試行的に行いました。

## 7人の議員が質問

- ・ 本文掲載は要旨のみです。
- ・ 再質問は議事録で閲覧できます。
- ・ 議事録は議会事務局で、11月上旬ごろ閲覧できます。

## 議会を傍聴しませんか

- ・ 次回定例会は12月に開催します。
- ・ 傍聴の定員  
本会議10人（席の都合上）
- ・ 9月定例会の傍聴実績  
本会議9人
- ・ 問合せ 議会事務局

☎ 0554・52・2112

# Q 総合戦略で就業環境をつくるとは

# A 村に縁のある企業と連携する



かずひこ  
佐藤和彦 議員

## 佐藤

3月に道志村総合戦略を策定しましたが、国が提示する政策の5原則①自立性、②将来性、③地域性、④直接性、⑤結果重視とありますが、道志村においての基本目標に「道志村への新しい人の流れをつくる」村に縁のある企業と連携して就業環境をつくとありますが、具体的にはどのような企業を対象としているのか。

## ふるさと創生推進室長

「企業と提携した新しい雇用環境創出」事業は、現在作成中の「道志村雇用環境創出協定書」に具体的な取り組み及び実施方法を掲げ、その取り組み及び実施方法に賛同頂ける、企業を対象に協定を結んでいく予定です。協定書完成後に、村内企業、富士吉田市、都留市

等近隣市町村で村民が経営している企業、村に縁のある企業に働き掛けを行います。

## Q 観光集客施策として、

現在、国道413号を通過する交通車輛は、年間数十万台ありますが、道志村を目的に来る観光客は一割にも満たないのが現状です。

2020年東京オリンピックに向けて道志村の観光・集客はまだまだ、伸び代があると思うが

## A 魅力ある村づくりをすすめる

### 産業振興課長

通行する車の数と比較して道志村を目的とした観光客は少なく感じています。より魅力のある村づくりに努め、パンフレット類もできるだけ予

算をかけずにわかりやすく作成するなどの工夫しておりませんが、今後はさらなる観光客増加を目指し、自然景観を生かした展望スポットの設置など、より一層道志村の魅力を感じていただけるような場所を増やしていきたいと考えています。

## Q 水源の森伝習館につ

いて、再利用する考えはあるか。また、西川先生像の移転計画はあるか

## A 財産管理計画により

## 検討する

### 村長

伝習館については、役割は終わっていると考えています。同時に村内に伝習館と同様に使うことができる施設が他にあるかどうか、調査、整理をしてその施設で活性化対策として計画できればと思います。

西川先生像の移転の話ですが、現在は考えていません。関係各位の皆さんが何か意見があるかを聞きながら検討していきたいと思えます。



西川先生像

\*西川鏡先生は、村の名誉村民となっている。

# Q 地域密着型老人福祉施設はどうなっているのか

## A 選定事業所より辞退届があった



かずひと 佐藤一仁 議員

佐藤

地域密着型老人福祉施設  
の進捗状況は

村長

6月定例議会後も引き続き、選定事業所と施設整備に向けて、最終的な協議を続けてきましたが、道志村地域密着型サービス候補事業者選定については、辞退したいと意向が示され辞退届が平成28年7月27日付で、提出された。

今後の予定については、引き続き実現に向けて、議会、住民、関係機関との協議を重ねていきますので皆様のご協力をお願いします。

Q 全国源流の郷協議会は、7年目になり、他の自治体と交流を図る中で、村が抱える、課題点や問題点に、どのように取り組

み政策に反映してきたか

A 源流基本法を整備  
する方向で運動中

村長

道志村が抱えている課題はいくつかあるが、協議会では個別の案件についての解決策の協議というより、源流地域を守るため、源流基本法など法律の整備を推進し、下流域と一体となった、広域的な協力により源流地域の森林を整備する仕組みづくりを働きかけているところです。

Q ①株式会社どうしの過去3年分の決算状況と施設使用料は

②平成26年度・平成27年度施設使用料を減額した理由は  
③道志の湯の経営改善計画等の内容と指導は

A 職員研修・美化運動・  
広報活動を進める

産業振興課長

①平成25年度の施設使用料は1920万円でした。平成26年度は780万円の損失となるため、その分の使用料を減免し1140万円（道の駅1080円・湯60万円）の使用料でした。平成27年度は600万減免し、1320万円（道の駅1200万円・湯120万円）の使用料でした。（\*別掲）

作成、提出を受けました。内容は食堂の営業時間の延長、施設内の美化活動、職員研修による接客対応の向上、WEBを利用した広報活動などを行う。毎月のお客様の目標値を設定するな

施設利用料

H 27	H 26	H 25	年度
1920	1920	1920	使用料
1320	1140	1920	納入額
600	780	0	減免額

(株)どうし施設使用料 \*単位：万円

# Q 工事指名業者の選定方法は

# A 指名選定委員会を経て村長が最終判断



佐藤

村のホームページによると今年5月27日に行われた工事番号2号から4号の工事で、5社指名され、内2社が辞退していますが辞退の理由は何か。また、指名競争入札を行う時に業者をどのように決めていくのか。

総務課長

工事番号第2号から第4号の工事において2社が辞退した理由は、「現場代理人の不足」「受注工事が重なったこと」等が考えられますが、いずれも工事の施工体制が整わなかったことが理由です。

次に、指名競争入札の業者の選定方法については、2年に1度、入札参加資格の受付を行います、業種別に受付を行い、審査後、入札指名参加名簿が作成され、その中から業者の選定

をおこないます。

業者の指名選定は、管理職で組織される指名選定委員会において、適格性、施工能力、実績を考慮し、村長へ具申します。その後、村長が最終判断を下し、指名業者が確定します。

Q ふるさと納税の取り

組みで、昨年6月定例会で、魅力的な特産品を開発し、道志村をアピールし、インターネットへの掲載方法等についても工夫したいと思えますと答弁されているが、これに対してどのような取り組みをしたか

A インターネットに掲載

したが寄付額は微増

総務課長

平成27年に実施した取

り組みは、

- \*総務省ふるさと納税ポータルサイトの中に掲載。
- \*県のホームページからの紹介リンクページに掲載。
- \*ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」に掲載。
- \*株式会社イグニスとの「ふるさと納税のご紹介」リンクページに掲載。
- \*公共施設、観光施設へのふるさと納税ポスターの掲示を行いました。

Q インターネットへの掲載

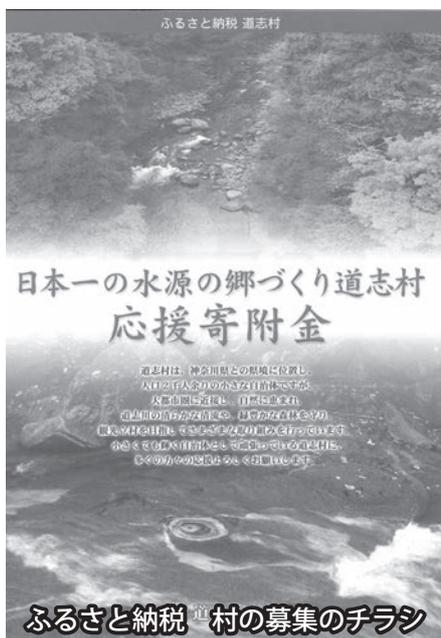
方法の、取り組み経費はいくらかそれによる効果は

総務課長

取り組みの経費で、インターネットのサイト等は、全て無料で経費はかかっていません。

ポスター作成費が約2万円経費としてかかりました。

これにより、目覚ましい成果とは言えませんが、平成26年度実績17万5千円に対し、平成27年度は、29万円と微増となっております、今後も納税者の獲得に取り組んでいきたいと思えます。



# Q 富士山噴火時の広域避難訓練計画は

# A 合同による広域避難訓練は必要



ひろふみ  
大田博文 議員

## 大田

村では、平成28年3月15日に忍野村との覚書を交わし富士山噴火時に忍野村が広域避難の必要がある場合、道志村に一時集結地、受入避難所及び避難所運営準備を行うとありますが、訓練は行うのか。また、避難場所は確保出来るのか。

## 総務課長

富士山火山防災対策協議会が平成27年3月に策定した「富士山火山広域避難計画」に基づき、忍野村では富士山火山広域避難計画を昨年の3月に策定しました。

これに伴い、道志村と忍野村は「富士山火山噴火時における忍野村の広域避難に関する覚書」により、本年3月15日に受け入れ等に関する事項の協定を結んでいます。

計画の中では広域避難

先として「道志村」「大月市」「上野原市」の3市村が指定されており、内野地区の住民、最大1500人の受け入れを見込んでいます。また、避難については、原則忍野村の事務局を配置する善之木コミュニティセンターを一時集結地として、やまゆりセンター、道志中学校体育館など8カ所を受入避難所として指定しています。

広域避難訓練については、将来的には忍野村と道志村、大月市、上野原市との合同による広域避難訓練を実施する必要があると思います。

## Q 国道413号線の夜間照明の老朽化対策は

設置箇所、老朽化の見直し

## 総務課長

国道に設置している街路灯のうち、電柱に設置しているものは村が管理しており、現在、国道413号線沿いには200本の街路灯を設置し、防犯灯としての役割を果たしています。

今後、村内の街路灯の設置箇所を見直しする方向で検討しており、その際、1本ずつ老朽化の確認を行いながら、必要があれば交換を行っていく考えです。

## Q 公園の遊具整備計画は

来年度に向けて、整備計画を立てる

## 村長

道志村の子育て支援については、平成27年度からスタートしています「まち・ひと・しごと創生総

合戦略」において、また、

村の最上位計画であり、平成28年度から10年計画の「道志村総合計画」において、それぞれの施策の中に位置付けています。今後は公園施設内に安全な遊具を設置することは、子育て環境の面からも優先順位は高く、子育て世代からのニーズも多いため、整備計画を立てていきたいと考えています。

「再質問あり」



老朽化が進む街路灯

# Q 道坂川砂防工事の調査、進捗状況は

## A 事業化は平成32年度以降



### 山口

- ①平成23年発生 of 台風13号により、道坂川で洪水が発生し、砂防工事を県建設部へ陳情したが、調査内容と進捗状況は。
- ②住民への調査結果の説明会及び協力体制等は。
- ③工事着工までの見通しは。

### 産業振興課長

- ①今年の4月から、道坂川からの土砂流出について調査を実施し現在、むじな沢と平久住沢の2カ所砂防工事を計画している、また公共施設、学校などがある箇所を優先していることなどから、事業化されるのは平成32年度以降になるとの返答です。
- ②事業化が平成32年度以降なので、現時点ではまだ説明会等の時期については考えていません。
- ③着工時期も現時点ではまだわかりません。

**Q 観光客の冬場の増加策が必要では**

**A 寒さや冬場の食について検討する**

### 産業振興課長

入込客数は増加していますが、冬場の入込客数が少ないのは現実です。今後は寒さや冬場の食について検討し村をアピールできる観光資源の発掘を行っていきます。

**Q 間もなく完成するアンテナショップの活用は**

**A 本村の魅力を発信する拠点にする**

### ふるさと創生推進室長

この施設は、「水源地道志村PRコーナー」・「定住・移住紹介コーナー」・「特産品販売コーナー」で

**Q 釣り客減少で村として漁業組合へ指導・助言は**

**A 釣り客の意見などを参考に漁協と協議**

### 産業振興課長

遊漁券の売り上げ枚数は、3年間で1割減少しており、本年も8月末時点で、前年の5割程度です。

**Q 内水面漁業の問題で、大学と連携して道志川の調査をしたか**

**A 環境 魚類生体調査を実施**

### 産業振興課長

東京海洋大学に依頼し、道志川の環境、魚類生体調査を実施しました。報告書の内容を要約すると、釣り客が放流した魚があつという間に釣り切ってしまったという可能性が高いとの内容でした。

見が多数ありました。釣り客の率直な意見などを、どのように反映させられるか漁協と協議していきたいと考えます。



# Q 工事名変更は事前説明を

# A 事業計画時に打ち合わせを密に



たかあき  
池谷高明 議員

池谷

道の駅駐車場整備工事は、当初駐車場整備工事のみであったが、「道の駅どうし芝生広場整備工事」と工事名称が変更になった。工事内容の変更については、事前の説明が必要では。

村長

当初は駐車場整備工事として計画していましたが、工事をはじめるとあたり道の駅の監督官庁である国交省や県土整備部との打ち合わせ、また道の駅を当初整備した時に利用した農政関係の補助事業などを見直していく中で工事の内容と工事名を変更せざるを得なくなりました。

今後は事業計画時に関係機関との打ち合わせを密にし、しっかりと計画のうえ、進めたいと

考えています。

Q 道の駅のような人が集まる施設にヘリポート施設を設置する妥当性と、ヘリが着陸した際の道の駅観光客への危険性は

A 通常時のヘリポート利用は考えてない

村長

芝生広場はあくまで駐車場兼用の広場としての整備であって、ヘリポートとは考えておりません。道の駅が地区の避難所であることから防災関係の起債を利用して事業を実施したことを考慮し、大規模災害時に支援助物資を受け取る目印のために、Hのマークを入れました。通常時にヘリポートとして利用する考えはありません。



道の駅どうしの芝生駐車場

# Q 男女共同参画計画に対する村長の認識は

# A 計画を推進していることは承知している



佐藤

男女共同参画計画は内閣あげて推進していると思うがこの問題に対する村長の認識は。

村長

国では平成27年12月25日に、第4次男女共同参画基本計画が閣議決定され、自治体に対して、市町村男女共同参画計画を策定することを推進していることは認識しています。

Q 男女共同参画計画は地域、職場、家庭で推進する必要があると思うが、村の実態は

A 新たな計画を策定する

村長

道志村では男女共同参画基本計画として、平成17年4月に「どうしいき

いき女性プラン」を策定し、平成21年までの5年間、その取り組みを行いました。その後、新たな計画策定はしていません。

現在、各種団体の女性登用については、民生児童委員をはじめ、食生活改善推進員、教育委員など、活躍の場が広がっています。

Q 市町村合併問題に対する村長の認識について、都留市との合併を

率先して推進してきた村長が道志村の単独存続が決定し、村長選に立候補しようとするならば、自分の考えが足りなかったこと、自分の考えが変わったことについて村民に対して今からでも説明すべきでは

村長

市町村合併問題について

では、6月の定例会において答弁しましたが、既に過去のものと考えています。

当時は、国の政策にそって合併を議論するのは、全国のほとんどの自治体で行われました。本村においても合併について議論し、住民投票の結果を踏まえ、単独存続の道を選択した訳です。現在、村政運営に全力で取り組むのみです。私が、村長選挙に、出馬したと言うことは、そういうことで、改めて、この問題について住民説明会等を行うことは考えていません。

Q 村長は先の答弁で合併特例債についても触れているが、10年の合併特例期間経過後は交付税を年々減額されて合併して16年後は合併しなかった場合より少

なくなることを知っていたか

A 具体的な試算はしていない

村長

特例債について、合併により、行政運営の効率化が図られ、経費節減につながり、結果的に交付税の減額に繋がることもある。と承知していましたが、具体的なシミュレーションは行ったことはありません。



# 動 報 告

## ●清流の夏休み婚活 in どうし

平成 28 年 8 月 21 日

結婚相談員主催による「第 4 回婚活 in どうし」が開催されました。当日、村内外から 24 名の参加があり、室久保の的様までの溪流散策・ニジマスのつかみ取り・B B Qを堪能していただき、交流を深め 4 組がマッチングしました。

議会では参加者の送り迎えや B B Q会場設定などを手伝いました。今後とも結婚相談員さんと連携し、引き続き人口増加対策に取り組んでいきます。



ニジマスのつかみ取りを楽しむ

## ●滋賀県竜王町での広報研修会に参加して

8 月 25 日～ 26 日

山梨県町村議会広報研究協議会開催の研修会を滋賀県竜王町議会広報委員会の皆様方と行いました。

郡内から 7 名、甲府方面より 12 名、事務局 2 名総勢 21 名の参加者で、1 泊 2 日の日程でした。

議会だよりを「読んでもらうには」と題し、活発な意見交換が行われ、そんな中「なるほど」と思う意見も多くあり、今後の参考にしてみたいと思いました。

その他のテーマ内容では、本村の配布までのスピードは他を圧倒しておりました。今後においては良いところは残し失敗を恐れず多くの事を試していきたいと感じました。



竜王町広報委員との意見交換

## ●改革第 1 弾！ 一般質問の形態・方法が変わりました

平成 28 年 9 月 6 日

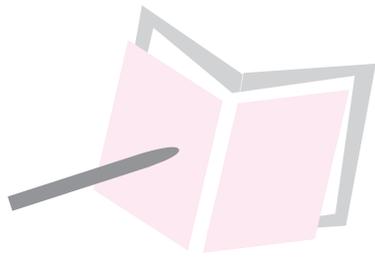
一括質問方式は分かりにくいとの意見が多くあり議会改革の取り組みとして一般質問の形態について 9 月定例会から一問一答方式を試行的に採用した。

- ①質問形態は、対面式で一問一答とするが、試行なので一括質問でもよい。
- ②質問は通告制で再々質問までとする。
- ③時間は、質問、答弁含めて 30 分以内とする。

9 月定例会では一問一答方式 6 人、一括方式 1 人が一般質問を行い、論点が明確になって良かったとの意見が多かった。



対面して質問する議員



# 議会活

## ● 町村議会議長・議会運営委員長研修（栃木県那珂川町議会）

7月14日～15日

山梨県議長会主催の研修会に参加しました。

那珂川町議会では議会の活性化への取り組みとして議会改革特別委員会を設置して、町民アンケートや研修、議会報告会を実施して平成26年に「議会基本条例」を制定しました。さらに3常任委員会、7特別委員会での議会活動の向上と充実を図っている。議会主催の住民懇談会や議会報告会を実施しています。

議会改革については今後、参考にしていきます。



那珂川町議会との意見交換

## ● 「源流を守る、活かす、生きる」をテーマに

7月30日～31日

今回参加した愛媛県松野町は道志村と似た問題を抱えており、山林の整備や間伐材の利用、保管場所またその間伐材を燃料として利用する温泉は本村も学ぶ所がありました。

今後は源流の郷の重要性と魅力を幅広く発信するとともに、地域づくり、地域おこしを活性化し魅力ある道志村をPRして行かなければならないと思いました。

また全国源流の郷協議会の連携、協力をすることで、源流ブランドというものが確立出来ればと思います。



有意義なパネルディスカッション

## ● 村内工事整備の要望、観光事業についての提言

平成28年8月9日

村内踏査を行い鳥獣被害防止柵を、2000 m各所、農道水路整備2か所の工事要望書と、観光事業「どうしの湯 足湯サービス」「富士山絶景スポット」などについて議会で提言し受理されました。

圏央道開通による交通量の増加に伴い道志村のPRと、古民話、伝説を発掘し道志村の歴史と文化を多くの人に知っていただき、村から話題を発信することで観光集客に繋げていきたい。



要望書／提言書の提出

# あの一般質問は今…

平成25年3月定例会

**質問**

ふるさと納税の現状とその活用は

**答弁**

制度創設5年間で、計25名で262万円の寄付があった。この資金で3つの事業を実施する。

平成26年3月定例会

**質問**

粗大ごみの収集をゴミステーションごとに行えないか

**答弁**

収集車両が大型であり、粗大ごみが多いものが多く、安全に収集する為にも、現在の5か所で行いたい。

その結果今は



年2回、7月・12月の日曜日に村内5か所で安全収集を行っています。



平成27年の実績は14名（県外13名、県内1名）総額29万円である。過年度の平均寄付金額は年37万5千円です。

議会の考え

安全な場所で収集することを優先して利用者は計画的に近い収集場所を利用すること、車ない方、体の不自由な方については、ボランティア活動利用の検討も必要である。

ふるさと納税依頼人の意に添った活用を図ると共に納税者に謝意をあらわすことも必要である。

# 紹介

## 道志村農産物生産出荷組合

組合長 佐藤 久重

今般、議会から「議会だより」に原稿依頼があり、がんばっている人ということですが、まず現在の組合状況から書きたいと思えます。

加盟している組合員数は、70名でそのうち平日は10名、土日には20名ほどが出荷しています。

農産物出荷組合といっても農産物だけでなく、山菜、花、植木、工芸品、漬け物、乾物、ジャムなど色々な物を出荷者みんなで助け合いながら和気あいあいと楽しんでいきます。あなたも自慢の物がありましたら持って来てください。いつでも受付をしています。

さて、平成27年度の総売

り上げが、6千200万円になり平成28年度から1億円を目標にして組合員を増やし、特産品になるような新農産物の開拓を行い、売り上げを伸ばして行きたいと思っています。

私達百姓は、田や畑に種を蒔き、作物を育てると言えれば簡単のようだが、皆さんもご存じのとおり、長雨や晴天が続く、台風などがきたりします。最も厄介な動物のハクビシン、猪、カラスなどあと2〜3日すると食べ頃になると必ず荒しに来ます。まったく困ったものです。

しかし、80歳を超える組合員が良いものを出荷しようという頑張っているとき、ま

だ私など若造であり頭の下がる思いです。

道の駅は、観光客がほとんどのため良い新鮮な物を安く提供できるように、お客様が道志村の農家を応援してやろうと思う気持ちを大切に良い物を作っていきます。

今日も明日も体を大事にがんばりましょう。



組合長 佐藤久重



店頭に出すまでの作業は大変です!

# がんばる人紹介

## 自然環境との戦いの中に活路を見出す努力を



道志村漁業協同組合  
組合長 佐藤 最上

私が漁協の理事になり、十年を迎えこのたび組合長に就任しました。

内水面漁業のむずかしさ、不安を抱えたスタートでした。釣り客の要望に応えられる様に数年前より水産技術センター、漁業施設等の視察を実施し、鮎に関する講習会にも参加しましたが不漁の解決策がありません。原因は水質の変化、川虫の減少、水温の低さ、また河川の両側に茂る立木等がアカの付着を遅らせ悪くしていると思います。

地球温暖化による集中豪雨、砂利の流れでアカが飛び、川が埋まり魚の居場所が減っています。また、本年は鮎の稚魚の成長が

悪く放流が遅れました。道志川は水温が低く川の栄養分も少なく稚魚十グラムで放流後六十日を必要とします。以上の様に難しい問題が山積していますが諸問題に対し取り組んでまいります。今年の解禁日は最悪で釣り客に謝罪の一日でした。この状況に村当局より成魚五百キロを提供して頂き有難う御座いました。その後は好漁が続き今でも大物が釣れます。

来年度に向けて放流時期、方法を研究しておりますので村当局組合員の皆様には今後とも宜しくお願い申し上げます。



成魚の放流

## 写真募集中 (議会だよりに掲載させていただきます。)

### 編集後記

9月定例会が終了し、新メンバーによる2回目の議会だより第32号の編集を完了した。今議会の特徴は議会改革を目指した一問一答方式を試行的に取り入れたことである。

一問一答方式による一般質問にも長短はあるが、今までより議論も深まり、双方にとって緊張感も高まり議会改革につながることは間違いない。今回の一般質問も7人がそれぞれの立場から多岐にわたり議論を深めることができたと思うが、議会だよりの限られた紙面では、限界も感じています。

これからもメンバー全員で分かりやすい議会だより編集に努めて参ります。  
(佐藤長久)

### 広報常任委員会

委員長 菅谷 政文  
副委員長 佐藤 長久  
委員 杉本 孝正  
委員 佐藤 進